記者発表

令和3年11月12日
国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所

丸森町 五福谷川遊砂地に係る【ワークショップ】を11月8日（月）に開催しました。

～ 地域住民と一体となった魅力ある遊砂地の整備を目指して ～

去る11月8日（月）に、丸森まちづくりセンター（丸森町内）において、東北地方整備局が整備する「五福谷川遊砂地」について、平常時の利活用や維持管理を主眼とした「ワークショップ」を開催しました。

ワークショップでは、丸森町の五福谷地区周辺に住む6名の代表者らが参加し、「遊砂地でしたいこと、あると良いもの」をテーマに意見交換が行われました。

本ワークショップは、今年度内に全3回の開催を予定し、今回が1回目の開催となります。ワークショップの意見は提言書としてまとめ、今後の遊砂地整備への反映を検討していきます。

【ワークショップの開催目的】

・阿武隈川水系内川流域では、令和元年東日本台風において、土砂・洪水氾濫等により甚大な被害をもたらし、国の直轄事業（特定緊急砂防事業）により、短期的、集中的に砂防施設整備を令和2年度から実施しております。
・中でも被害の大きかった五福谷地区では、県内最大規模となる「遊砂地」の整備計画があり、現在は施設設計を進めています。
・当該地区では天皇皇后両陛下が被災地見舞いに訪れた場所でもあり、当時の被災を後生に伝承する上でも五福谷川遊砂地は東日本台風の象徴的な施設の一つになるものと考えます。
・そこで、遊砂地整備後も当該地区周辺に住む住民の方々を対象に、新たなコミュニティ形成のきっかけや、観光資源、防災教育の充実といった平常時の利活用について、広く意見を頂くこととしました。
・本ワークショップを通し、魅力あるまちづくりや地域防災力の向上、砂防事業に対する相互理解に繋がることが期待されます。

【構成メンバー】

＜主催＞
・ 東北地方整備局　宮城南部復興事務所
＜参加者＞
・ 五福谷地区住民代表　4名、 五福谷・中通地区民生委員　2名　　計6名
＜アドバイザー＞
・ 東北大学　災害科学国際研究所　准教授　柴山明寛
（丸森町復興推進委員会　副委員長）
＜オブザーバー＞
・ 宮城県
＜ファシリテーター＞
・ 日本工営（株）　（五福谷川遊砂地 設計受託業者）

【開催概要等の詳細】

・別添資料をご参照ください。

【その他】

・ワークショップの開催概要は、以下 URL にも随時掲載していきます。
http://www.thr.mlit.go.jp/nanbufukkou/work02/index.html　（ トップページ → 砂防関連事業 ）

発表記者会：白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地
電話：0224－51－8290（代表）

副所長（技術）　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）　（内線204）

建設専門官　　松田（まつだ）　宏一（こういち）　（内線401）

【第１回】五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ　開催結果報告

別添

- 令和3年11月8日（月）丸森まちづくりセンターにおいて、「五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ」を宮城南部復興事務所の主催により行いました。
- このワークショップは、今後整備予定の五福谷川遊砂地において、主に平常時の利活用や維持管理を主眼に、住民代表者からご意見を伺い、地域と一体となった魅力ある遊砂地の整備を目指すことを目的としたものです。
- 今回、第１回目となるワークショップでは、「遊砂地でしたいこと、あると良いものについて」をテーマに、参加者からは活発な意見交換が行われました。

＜第１回 ワークショップ参加メンバー＞
・住民代表者：民生委員等 6名 ・ファシリテーター：日本工営（株） ・アドバイザー：東北大 柴山准教授 ・オブザーバー：宮城県

【ワークショップの開催計画】

＜第１回＞
・令和3年11月8日（月）
・テーマ：
遊砂地でしたいこと、あると良いものについて

＜第２回＞
・令和3年12月中
・テーマ：
現地視察、第１回の振り返りととりまとめ方針整理について

＜第３回＞
・令和3年2月中
・テーマ：
提言書に向けた最終確認について

＜提言書の策定＞
丸森町へ提言書を手交

第１回テーマ：遊砂地でしたいこと、あると良いものについて

参加された皆さまからいただいた主なご意見

凡例　提案やアイデア等　心配なことや懸念事項等

■防災について　■観光振興について　■地域の憩いについて

- 遊砂地としての効果を最大限発揮できるようにしてほしい
- 地域のシンボルとして桜やモミジなどを植樹するときれいだと思う
- グラウンドゴルフ場や東屋、遊歩道などがあると良い
- たまった土砂の撤去など維持管理をしっかりしてほしい
- 天皇陛下行幸の地として記念碑を設置してはどうか
- 子供の遊び場所が欲しい
- 防災教育の拠点となると良い
- 防災と観光の両立
- 駐車場などができるとごみや騒音が問題となるのではないか
- 多世代の憩いの場所となるとよい
- 地域防災力の向上に取り組みたい
- 対岸の神社に行きにくくなるのが不安



▲ワークショップの様子（写真1）

東北大学・柴山准教授の講評

- 防災観光という考え方は非常にいい意見だと思う。
- 維持管理や集客についてはより議論が必要である。
- 遊砂地内にかつて集落があったことを示す石碑を設置してはどうか。
- 次回以降も積極的にご意見をいただければと思う。



東北大学
災害科学国際研究所
柴山明寛 准教授
（写真２）

＜参考資料＞　五福谷川遊砂地のイメージ図

※イメージ図の内容は設計の進捗に応じて変更となります。

